



令和3年度卒業証書授与式

春風が爽やかな3月12日（土）、令和3年度卒業証書授与式を挙行政致しました。新型コロナウイルス感染対策を施しながら、厳粛な中にも温かさが感じられる式となりました。前田校長より、80人ひとり一人に卒業証書が手渡されました。また、前田校長は「やさしさは人間の本能にはない。だからこそ心を育て欲しい」と、式辞を述べられました。在校生代表送辞では、生徒会長の入江隼人さんが、生徒会目標の“炎をあげろ”になぞらえて、先輩への感謝とエールを贈りました。卒業生代表答辞では、井端加奈さんが3年間のあしあとをたどりながら、保護者への感謝を交え、未来に向かっての決意が語られました。式が終わって、最後は在校生と保護者が作る花道をとおり、卒業生を送り出しました。4月からは高校生となります。繋がりを大切に、活躍を期待しています。



高校生に学ぶ ～14期生からのメッセージ～

3月15日（火）、環境科学科2年生（14期生）の5名を迎えて、中学1年生を対象に「高校生に聴く」を開催しました。中学生からの質問に答えるパネルディスカッション形式で行いました。勉強方法、ノートの取り方、部活との両立方法、睡眠時間やスマホとのつきあい方など、様々なテーマに体験談をもとにアドバイスを語ってくれました。5名とも学習も部活動も全力だからこそ、言葉に熱があり伝わるものがありました。中学1年生には、大きな刺激となったことでしょう。



東日本大震災から11年



東日本大震災から11年が経ち、3月11日に全校で1分間の黙祷を捧げました。震災で亡くなった方に冥福を捧げるとともに、教訓を自分たちにいかしていかななくてはなりません。11年前の3月11日は、和歌山でも津波注意報が発令され、電車が止まりました。和歌山では南海トラフ巨大地震が心配されています。地震は学校、通学路、家など、いつ起こるか分かりません。改めて、防災について考える機会にしましょう。